



令和 5 年度学長教育助成制度連携
地域協働・ドミトリ型融合教育による理工系人材育成



**G-DORM 学生交流プログラム FY2023（春休み短期派遣）
新潟大学からの参加者募集について【学部生対象】**

10月26日（木）午後3時締切

新潟大学附属工学力教育センターでは、春休みにカンボジア・王立プノンペン大学において実施する、学生交流プログラム（短期派遣）に参加する学部生を募集します。この交流プログラムの実施期間は2024年2月20日（火）から2024年3月2日（土）です（学内での事前学習を除く）。

このプログラムでは、①2学期（第3ターム及び第4ターム）の毎週月曜1限に開講する英語を使用言語とし、新潟大学の留学生との共修によるアクティブラーニングを含む講義科目、または②第3タームの毎週水曜5限に開講する英語を使用言語とし、英語による討論等アクティブラーニングを含む講義科目と第4タームに実施する国際オンライン協働学習の手法を用いた G-DORM オンラインプログラムと組み合わせて実施（どちらか選択可）します。すなわち、2学期に国内留学のような形で、外国人留学生との英語での共修により、グローバル対応力を養ってから、カンボジア・王立プノンペン大学に短期留学し、研究室訪問を通じた、現地学生との交流・討論等を行うことで、さらなる能力向上を図る、段階的で実践的なプログラムです。特に、カンボジア渡航による現地文化を直接体感したり、カンボジア学生とディスカッションを実施したりすることを通して、国によって異なる課題やニーズを把握し、その課題解決についてリアリティをもって学びます。また、カンボジア学生との交流により、異文化理解や国際協調性、英語能力の向上も目指します。

少子高齢化による国内市場の縮小や、アジア諸国の低賃金な労働力などから、理工系の業種においても、グローバルな視点から課題を発見・解決できる人材が必要とされています。本プログラムでは、日系企業がグローバル化の流れの中で、どのようにして成長・高度化し、国際展開を図っていったのか、というプロセスについて直接学ぶ機会として、企業訪問あるいは国際機関への訪問も実施予定です。

本プログラムは正規カリキュラムとして実施するため、他にはない、次のようなメリットがあります。

- 現地渡航による短期派遣プログラムを修了し、一定の評価を得た学生には、単位（原則2単位）を取得することが可能です。
- 基本的選抜基準を満たした学生においては、カンボジアへの渡航に要する費用を一部補助します。また、入国の際に必要な査証申請手続きをサポートします。
- 日本学生支援機構（JASSO）による給付型奨学金を取得することで、派遣期間中、70,000円の支給を得ることができます。これにより、現地での生活費（宿泊・食事等）の多くをカバーできます。
- 現地での移動や滞在施設、生活の情報収集等に関しては、相手大学からの協力を得る体制ができています。また、工学力教育センターからもバックアップします。

この学生交流プログラムは、将来、理工系グローバルリーダーとして活躍するために必要となる知識や経験、国際感覚を学ぶものです。今後ますます国際化が進展する中で、みなさんの将来の研究や就職にきっと役立ちます。ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）の自己アピールにも有用です。

ぜひご応募ください！

1. 実施期間

2024年2月20日（火）から2024年3月2日（土）

※ 参加学生決定後の航空券手配や各大学・企業と調整の結果、期間が前後する可能性あり。

※ 上記期間は留学期間であり、学内での事前学習・事後学習の日程は含みません。

2. 対象者と募集人数

対 象 者：①本学の学部学生（学士課程）であること。

②第2学期（第3ターム及び第4タームの月曜1限）に開講される講義科目「国際工学特論」の受講，または，第3タームに開講される講義科目「国際技術協力」と第4タームに実施予定のG-DORM オンラインプログラムを受講すること。

募集人数：6名

※応募多数の場合は，工学部学生を優先します。

3. 活動内容

(1) 次の①または②のいずれかの受講

①講義科目「国際工学特論」（230T0022，第2学期月曜1限）¹⁾

1) 留学生との英語による国際共修型アクティブラーニング講義。詳細はシラバス参照。

②講義科目「国際技術協力」（230T0024，第3ターム水曜5限）²⁾ 及びG-DORM オンラインプログラム（第4ターム，平均1～2コマ/週）³⁾

2) 英語による討論も含んだアクティブラーニング講義。詳細はシラバス参照。

3) 海外学生との英語による国際オンライン協働学習。詳細はオンラインプログラムの募集要項参照。

注) 国際技術協力は，履修登録期間中に学務情報システムから履修登録を行う必要があります。

国際工学特論は，履修希望をメール (g-dorm-j@eng.niigata-u.ac.jp) でお知らせください。

(2) 出発前の事前学習（1～2月予定）

・渡航先大学での活動内容や，現地での生活や安全に関すること，英語学習に関すること等，事前学習を行います。

(3) 派遣先大学での活動（2/20～3/2）

・派遣先の王立プノンペン大学（カンボジア・プノンペン）において，研究室訪問を通じた，現地学生との交流・討論がメインの活動になります。現地企業もしくは国際機関への訪問も実施予定です。

(4) 事後学習と課題提出（3月中）

・帰国後に成果発表会を開催します。また，自己の学びについて振り返り，今後の大学での勉学や研究につなげられるよう，事後課題（レポート等）に取り組みます。

4. 活動スケジュール

10月下旬 応募締切，参加者の選定。

11月上旬 JASSO 奨学金等の申請書類作成，王立プノンペン大学への提出書類作成。

1月～2月 出発前の事前学習。

2月20日 日本出国。渡航後，王立プノンペン大学にて学習活動を実施。

3月2日 日本帰国。

3月下旬 成果発表会の実施・レポート等の課題提出。

5. 参加費用

旅費を除き不要です。

旅費（例えば以下に示すもの）は参加者負担です。なお、移動経費や宿泊費、現地での生活費の多くは、JASSOの奨学金（6.を参照）を取得することでかなりカバーできるため、他のプログラムと比較しても安価で参加することができます。

- 空港までの往復交通費 ※1
- 航空券※1, ※2
- カンボジアでの国内交通費
- カンボジアでの宿泊費 ※3
- カンボジアでの食費等の生活費
- 海外旅行傷害保険・危機管理サービス（保険・危機管理サービスには必ず加入していただきます）
- 査証取得に係る費用
- パスポート取得費（持っていない場合）
- オプションツアーやお土産代 など

※1 新潟空港発着の飛行機利用を想定しています。発着空港に集合・解散とする予定です。

※2 渡航費の一部補助を予定しています。

※3 王立プノンペン大学から安価で安全な滞在施設の情報を提供していただく予定です。

6. 日本学生支援機構（JASSO）による奨学金

成績等、一定の要件を満たす学生は、（独）日本学生支援機構（JASSO）への申請により、給付型奨学金を得ることができます。奨学金の額は、70,000円です。この奨学金は、渡航中または渡航後に支給対象学生の口座へ振り込まれます（渡航前には支給されません）。

奨学金支給対象者は、本プログラム参加決定後、資格及び要件の確認を経て決定します。資格及び要件は、別紙の奨学金概要「（独）日本学生支援機構（JASSO）2023年度海外留学支援制度（協定派遣）奨学金について」を参照してください。なお、支給対象者となった学生には、所定の報告書等の提出が義務付けられています（提出期限厳守のこと）。

7. 応募に当たっての注意事項

応募に際しては、下記事項について必ず承諾の上で行ってください。

- 派遣前後にはレポートやプレゼンテーション等の課題を提出していただきます。
- 緊急事態がない限り、本プログラムの途中参加（遅れて渡航）及び本プログラム実施期間中の日本への帰国は認められません。
- 病気・けが等の理由がない限り、本プログラムの活動には全て出席してください。
- 現地での活動に際しては、派遣先大学や訪問先企業等の指示に従って行動してください。怠慢な態度であったり、理由もなく遅刻したりした場合は、学習活動中断を言い渡されることもあり得ます。
- グループワークなどでは、カンボジアの学生等との英語での討論となりますが、積極的に議論に参加する意欲をもって参加してください。
- 現地滞在中は、現地の文化を尊重し、新潟大学の学生代表の自覚をもって行動してください。
- 海外渡航に際して、心身ともに支障がないことが求められます。
- 渡航期間中は工学部が指定する海外旅行傷害保険及び危機管理サービスに加入していただきます。
- 参加の際には、必ず保護者に説明のうえ、同意を得てください。渡航前に保護者の同意書を提出し

ていただきます。

- 学年担当（3年までの場合・工学部学生のみ）/指導教員（4年以上の場合）に本プログラムへの参加意志を予め伝えた上で、応募してください。
- 応募に際して「G-DORM 学生交流プログラム FY2023 オンライン」（第4ターム実施）への同時応募も可能です。参加申込書は共通です。申込書の注記に従い記入することで、本プログラム（短期派遣）とオンラインの両プログラムを同時応募できます。
- 工学部では、春休み期間（2/22 出発，3/30 到着）に、マレーシア語学研修プログラムの実施も計画しています。本プログラムとマレーシア語学研修プログラムの同時応募はできません。なお、マレーシア語学研修の案内は10月後半以降になる見込みです。
- 本プログラムの活動の様子を撮影した写真・ビデオは、広報活用や、今後の国際交流プログラムの教材資料として活用させて頂くことに、予めご了承ください。
- 本プログラム終了後にG-DORMの改善・発展のための活動（説明会での経験談や経験学生としてのサポート，プログラム改善のためのフィードバック等）に協力を求めます。予めご承知ください。
- 本プログラム参加に当たって、英語力向上効果を測るため、プログラム開始前とプログラム終了後にTOEIC等の英語資格試験の受験を推奨します。獲得した資格や英語スコア情報について、本学工学部に情報提供頂くよう、ご協力をお願いします。なお、提供頂いた情報は統計的に処理した上で活用するため、個別の情報を公開することはありません。

8. 応募方法

指定の参加申込書（表裏とも）に記入し、PDFとして保存したファイルを、**2023年10月26日（木）午後3時まで**に、下記提出先のメールアドレスまで、**メールにて**提出してください。

【提出先】 g-dorm-j@eng.niigata-u.ac.jp

新潟大学附属工学部工学力教育センター国際教育部門（担当：中野）

9. 選考方法

(1) 書類選考・面接の実施

- 提出書類をもとに書類選考を行い、通過者には面接を実施します。詳細は、**メール連絡**します。

(2) 採否の決定

- 提出書類や面接結果、英語スコア、学業成績をもとに、参加意欲や英語力などを総合的に評価して採否を決定します。

10. 単位について

本プログラムへの参加に係る、学生自身の事前事後を含む活動状況や課題等を総合的に判断し、一定の評価を得た学生には、原則として、工学部専門応用科目「国際研修」（2単位）を認定する予定です。

※既上記科目を上限の4単位まで履修済みで本プログラムへの応募申請をご検討されている方は、単位付与について、事前に下記担当にお問合せをお願いします。

11. お問い合わせ

工学部附属工学力教育センター・国際教育部門の教職員にお気軽にお問い合わせください。

担当：中野（025-262-7290）、上田（025-262-7025）、馬場（025-262-7369）

メール g-dorm@eng.niigata-u.ac.jp

G-DORM プロジェクトのホームページ・SNS を是非ご覧下さい！

Homepage: <https://www.eng.niigata-u.ac.jp/~g-dorm/>

Facebook: <https://www.facebook.com/gdorm.niigata/>

Instagram: https://www.instagram.com/g_dorm_niigatauniv/

ホームページ



Facebook



参考情報

王立プノンペン大学（カンボジア）について



1960年設立。理学部，工学部，開発学部，人文社会科学学部，教育学部の5学部と外国語研究所の1研究所を擁する総合大学で，カンボジアの教育・研究をけん引するリーディング大学。インターンシップなどの実践的教育にも積極的に取り組んでいる。



<http://www.rupp.edu.kh/>

G-DORM Web サイト「学生の声」※これまでのG-DORMプログラム参加学生の体験談

<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/~g-dorm/contents/voice/?prog=outbound>